様式第３号

事務事業評価表（令和 2年度）

事業コード	2261	課コード	0302	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策　□経常　□なし

１．事業の概要(PLAN)

(1)事業概要	①事業名	基本事業		実施計画への位置づけ	○有　●無
		個別事業	市民公益活動支援指針の進行管理	②部課名	市民生活部・市民活動支援課
	③事業主体	●市　○その他（　）		④対象地区	□我孫子　□天王台　□湖北　□新木　□布佐　■全市
	⑤事業期間	令和 2年度　～　令和 6年度		⑥担当職員数	4 人　（換算人数　0.25 人）
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	0 千円	当該(開始)年度	（当　初）2,175 千円　（うち人件費　2,175 千円） （変更後）千円　（うち人件費　千円）
	⑧施策の位置づけ	施策コード 41201	重点プロジェクトへの位置づけ　重点２	基本計画地区別計画への位置づけ	○有　●無
				部門別計画への位置づけ	（計画名）市民公益活動支援指針
(2)目的	施策目的・展開方向	市民活動団体が自立して継続的に活動できるよう、団体の基盤強化が図れるような支援に取り組みます。また、あびこ市民活動ステーションを中心に市民活動支援事業を展開するとともに、公募補助金制度等による支援も行います。さらに、市民活動団体や自治会、まちづくり協議会等との連携を図ります。		事業目的	我孫子市の市民公益活動への支援方針を明示し、施策の検討を行う.
(3)事業内容	内　容	「我孫子市市民公益活動支援指針」の施策を効果的に実施できるよう進行管理を行う。 また、市民活動を取り巻く状況の変化に対応できるよう検証し、概ね５年を目安に見直しを行う。 なお、平成３１年度に見直しのための基礎資料を作成（事務事業コード１６１）。		当該年度執行計画	○平成２７年に改定した「我孫子市市民公益活動支援指針」の検証を行い、令和２年度中に新たな指針として改定する。 なお、改定にあたっては、中央学院大学、あびこ市民活動ネットワーク、あびこ市民活動ステーション指定管理者、社会福祉協議会などの多様な主体と連携して進める。
				当該年度活動結果指標	指針に基づく事業の実施件数　単位：件　想定値 12　実績値

(4)達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	指標種類	指　標	単位	(5)現況値	(6)目標値
当該年度	指針に基づく事業が実施されている	直接	施策の実施率（実施された施策数／施策数）	%	100	100
令和 3年度	指針に基づく事業が実施されている	直接	施策の実施率（実施された施策数／施策数）	%		100
令和 4年度	指針に基づく事業が実施されている	直接	施策の実施率（実施された施策数／施策数）	%		100

(7)事業実施上の課題と対応	代替案検討
市民活動の現状、課題、指針の見直しについては、多様な主体との十分な情報共有と連携に努める。	○有　●無

(8)施行事項	平成31年度			令和 2年度				令和 3年度			令和 4年度		
	政策	内　容	金額(千円)	政策	内　容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内　容	金額(千円)	政策	内　容	金額(千円)
実施内容				＊	市民公益活動支援指針の見直し	0			市民公益活動支援指針の進行管理	0		市民公益活動支援指針の進行管理	0
費　用													
予算(決算)額		合　計	0		合　計	0			合　計	0		合　計	0
(9)財源内訳 国庫支出金		補助率 0 %	0		補助率 0 %	0			補助率 0 %	0		補助率 0 %	0
県支出金		補助率 0 %	0		補助率 0 %	0			補助率 0 %	0		補助率 0 %	0
起債		充当率 0 %	0		充当率 0 %	0			充当率 0 %	0		充当率 0 %	0
一般財源			0			0				0			0
その他の財源		□特会 □受益 □基金 □その他	0		□特会 □受益 □基金 □その他	0			□特会 □受益 □基金 □その他	0		□特会 □受益 □基金 □その他	0
(10)人件費等 換算人数(人)			0			0.25				0.25			0.25
正職員人件費			0			2,175				2,175			2,175
嘱託職員報酬額			0			0				0			0
臨時職員賃金額			0			0				0			0
事業費(予算(決算)額＋正職員人件費)			0			2,175				2,175			2,175
(11)単位費用（事業費／活動結果指標）		0千円／＊＊			181.25千円／件								

２．事業の評価(DO+CHECK)

評価項目	事　前　評　価	事　後　評　価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））	改善検討
必要性 (1)事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	現在の指針は、平成２７年度に改定されたもので、時代や環境の変化に伴い見直す必要がある。 そのため、令和２年度に改訂し、新しい指針に基づく事業の進行管理を行う。	○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった ＜想定どおりとした理由／想定どおりでなかった原因＞	○要 ○不要
必要性 (2)市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できない （理由）□法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他 ＜その他の内容＞ ○②自治体である市が推進すべきである （理由）□市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他 ＜その他の内容＞	□①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 ＜市実施の具体的な内容・必要性の理由＞ ＜その他の内容＞	○要 ○不要
参加・協働の工夫 市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容： ○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 ＜その他の内容＞ 工夫の具体的な内容：指針策定時には、あびこ市民活動ネットワーク（市内市民活動団体のネットワーク組織）、あびこ市民活動ステーション指定管理者、社会福祉協議会、中央学院大学等との意見交換会を実施する。	実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容） 参加・協働の程度・内容： ○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 ＜期待した以上となった理由／期待以下であった原因＞	○要 ○不要
環境への配慮 環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点： □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 ＜その他の内容＞ 取組む内容：準備段階ではメールを活用し、紙の使用量を削減している。また、会議や打合せは必要最小限にし、全体の省力化を図っている。	実施した具体的な内容 環境への配慮： ○①想定どおり ○②想定どおりでなかった ＜想定どおりでなかった原因＞	○ 要 ○ 不要
効率性 (1)目標設定は適切か？	現況値(a)(%)：100　目標値(b)(%)：100 目標値の妥当性のチェック： □①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である	達成状況：実績値(f)(%)　達成率(%)(f/b×100) ○①目標値達成 ○②目標値未達成 ＜目標を達成した理由／未達成となった原因＞	○要 ○不要
効率性 (2)事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減：事業費(c)(千円) 2,175　事業費削減額(d)(千円) — 事業費削減率(%) — 実施予定の対策： □①国・県助成制度活用　□⑤ＰＦＩ等民間資本の活用 □②現有体制での対応　□⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施　□⑦その他 □④民間委託 ＜削減の内容＞	実施状況：実績値(g)(千円)　対事業費(%)(g/c)×100 ○①想定事業費未満 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 ＜超過理由等＞ 事業費の削減対策について： ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった ＜想定どおり削減できなかった原因＞	○要 ○不要
効率性 (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)：4.6 %　費用単位：10万円 計算方法： ●①単年度の指標：目標値×費用単位／事業費 ○②複数年度の指標：(目標値－現況値)×費用単位／事業費	達成状況：実績値(h)　対目標値(%)(h/e)×100 ○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 ＜目標値以上となった理由／目標値以下であった原因＞	○要 ○不要

３．事後評価

○現状どおり推進　○拡充　○縮小　○結合　○休止　○廃止　○事業手法見直し　○その他(事業完了など)

評価	評価コメント	改善策及び展開方向